

平成29年度

総合学習センター事業概要



相模原市立総合学習センター

学びが未来を

創造する

運営方針

総合学習センターは、市民一人ひとりが充実した人生を送り、住みよい社会をつくるための生涯にわたる学習を支援するため「市民の学習の支援」「学校教育・社会教育の支援」「学社連携・協働の推進」を総合的に行い、関連する諸機関とともに、生涯学習社会の実現を図ることを目標とします。このような考え方のもとに、次の7つの機能を発揮して、計画的に目標の達成をめざします。

総合学習センター 7つの機能

1 学社連携・協働機能

【研究・研修班】 学校と地域の協働推進体制の構築
学校支援ボランティアに対する研修等

2 研究・研修機能

【研究・研修班】 教育研究員研究、「さがみはら教育」の発信
教育研究発表会
教職員の各種研修、教育実践相談、学校経営相談

3 学習機会の提供・学習相談機能

【学習支援班】 市民大学、研究機関等公開講座、
生涯学習まちかど講座、講座事業、施設貸出
生涯学習相談
【学習情報班】 市民のためのICT活用研修・支援

4 学習情報の収集・提供機能

【研究・研修班】 教育研究集録や副読本等の発行
【学習情報班】 ホームページによる情報提供
所報「センターだより」の発行

5 情報教育推進機能

【学習情報班】 学校間ネットワークの整備・運営
情報教育研修

6 生涯学習ネットワーク機能

【学習支援班】 市民による学習機会提供の仕組みの構築
生涯学習関連行政・機関等との連携・協働による
学習機会の提供

7 人材養成機能

【研究・研修班】 「さがみ風っ子教師塾」による教員志望者の人材養成

【 】は主な担当班

各機能別の主な事業内容

1 学社連携・協働機能

生涯学習社会の実現に向け、学校、家庭、地域社会が一体となって連携・協働を推進するとともに『人間性豊かな子どもの育成』と『生き生きとした市民の活動』を通じたよりよいまちづくりを進めるための具体的な取り組みを展開していきます。

1 連携・協働体制の推進

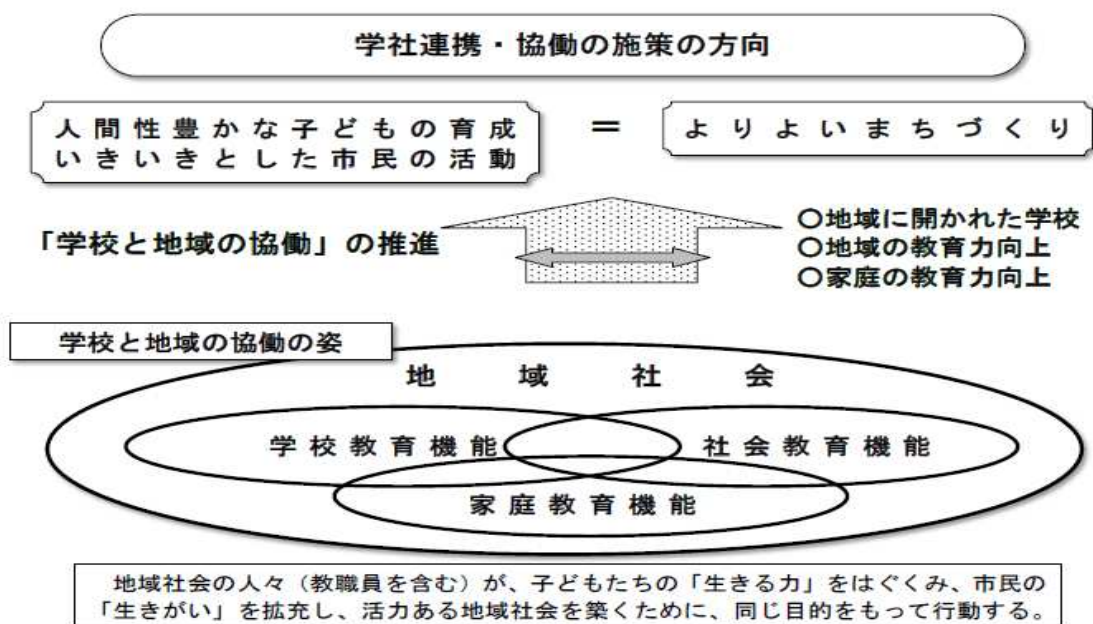
28年度からは9校に「学校と地域の協働推進コーディネーター」を配置し、学校と地域の協働推進体制の構築に向けた取り組みの充実を図ります。

2 研修、人材育成

- (1) 「学校と地域の協働推進コーディネーター」研修会
- (2) 学校支援ボランティア研修講座（学校教育課との共催）

3 情報の収集・提供

学社連携・協働に関わる調査・研究を行い、実践事例を収集しながら、学社連携・協働に関わる情報を提供します。



2 研究・研修機能

本市の教育の向上のために、教育の実状をとらえ教育課題を明確にし、調査・研究の推進と充実を図ります。

また、質の高い教育実践の推進が図られるよう、教職員の資質・能力向上のための多様な研修を実施します。

研究事業

1 教育研究員研究

本市の学校教育・社会教育の向上を図るため、学校、地域社会における教育課題を積極的に取り上げ、組織的・計画的な調査研究を行います。

[研究方針]

- (1)市学校教育・社会教育の諸課題について、組織的・計画的な調査・研究を行います。
- (2)職員としての専門的資質・能力や指導力の向上をめざします。
- (3)研究や生涯学習事業との関連を図ります。
- (4)研究成果は、教育研究発表会における発表や研究集録の発行を通して、教職員・市民・関係機関等へ広く発信します。
- (5)研究期間は2年継続を基本とし、平成29年度は次の4本のテーマについて調査・研究を行います。

研究期間	研究テーマ	研究員構成
平成28・29年度継続	考え、議論する特別の教科道徳のあり方にかかわる研究	小2名/中2名
	子どもの体力の向上に向けた指導のあり方にかかわる研究	小2名/中2名
	タブレットPCを効果的に活用する授業づくりにかかわる研究	小2名/中2名
平成29・30年度継続	効果的なOJTの具体的な方策に関わる研究	小1名/中1名

2 「さがみはら教育」の発信

今日的な教育課題等に関する研究について、情報提供や情報発信をします。

3 教育研究発表会

「ともに見つめ、ともに創る子どもの未来」をテーマに、日頃の教育研究・研修及び実践等の成果を発表し、子どもたちの健やかな育ちのため、子どもに関わる様々な立場の人が、お互いの役割や協力について市民とともに考える機会とし、本市の教育の一層の充実・発展に寄与することを目的とします。

- (1)日 時 平成29年8月22日(火)
分科会 午前9時30分から正午まで
分科会 午後1時30分から午後4時30分まで
- (2)会 場 相模原市民会館 他
- (3)発表者 教育研究員
教育実践研究論文入賞者
特別研修研修者 等

研修事業

1 めざす教職員像

「教育愛にあふれ社会の中で学び続ける教職員」

2 教職員に求められる資質能力

- (1)教育職としての本質に迫る力
- (2)子ども理解と個・集団を育てる力
- (3)専門性を高める力
- (4)マネジメント力を高める力

3 研修体系

教職員に求められる資質・能力を向上させるため「ライフステージ研修」「専門研修」「学校への訪問支援研修」「特別研修」「職能研修」の5つのカテゴリーに分け、研修を体系化して実施します。

区分	研 修 名	リニューアル	講座数	日数	研修目的
ライフステージ研修	初任者・新採用研修講座	初任者研修講座	4	15	教職員個々のライフステージに沿った系統的・重点的な研修を行うことにより、教職員の資質向上を図る。
		養護教諭新採用研修講座		12	
		新任栄養教諭研修講座		5	
		幼稚園教諭等新採用研修講座		10	
	2年次研修講座	2年次研修講座	2	7	
		養護教諭2年次研修講座		6	
	3年次研修講座	3年次研修講座	2	5	
		養護教諭3年次研修講座		4	
	5年次研修講座	5年経験者研修講座	平成30年度に向けて検討		
		養護教諭5年次研修講座	1	4	
	中堅教諭等資質向上研修講座	中堅教諭等資質向上研修講座	3	14	
		中堅養護教諭等資質向上研修講座		8	
		中堅幼稚園教諭等資質向上研修講座		6	
学校運営・経営研修	新任管理職研修	新任校長研修講座	2	6	管理職としての職務や教育に対する識見を高め資質・指導力の向上を図る。
		新任副校長研修講座		6	
学校運営・経営研修	管理職研修	校長研修講座	2	2	
		副校長研修講座		2	
学校運営・経営研修	学校運営推進者研修	学校運営推進者研修講座	1	5	学校運営推進者としての資質向上を図る。
	常勤代替教諭研修	常勤代替教諭研修講座	1	1	常勤代替教諭としての資質向上を図る。
専門研修	授業力向上研修	学習指導要領研修講座	10	13	学習指導要領の基礎的な内容、実践的指導力(授業力・評価力等)の向上を図る。
		確かな学力向上研修講座		1	
		確かな学力をはぐくむ授業づくり研修講座		2	
		学習評価研修講座		1	
		宇宙航空研究開発(JAXA)と連携した授業づくり研修講座		1	
		東京工業高等専門学校と連携した授業づくり研修講座		1	
		中堅教諭等による公開授業研修講座		30	
		新しい課題対応型公開授業研修講座		2	
		新潟市教育委員会マイスター教員による研修講座		3	
		伝達研修講座		12	
支援教育研修	支援教育研修	支援教育コーディネーター新担当者研修講座	5	4	支援教育についての専門的な知識やスキルを身に付ける。
		支援教育コーディネーター研修講座		4	
		特別支援学級新任者研修講座		5	
		特別支援教育担任者研修講座		1	
		特別支援教育スキルアップ研修講座		7	
情報教育研修	情報教育研修	情報活用能力の育成研修講座	6	6	児童生徒及び教職員の情報活用能力を培うための研修を実施し「学校の情報化」の推進を図る。
		ICTを活用した授業改善研修講座		15	
		校務の情報化研修講座		13	
		情報教育担当者連絡会		1	

専 門 研 修	教育課題研修	通常の学級の支援を必要とする児生徒の理解研修講座	8	1	時代の変化・様々な教育課題に適切に対応できる資質・能力の向上を図る。
		通常の学級の支援を必要とする児生徒の理解研修講座		1	
		児童生徒指導研修講座		1	
		児童生徒指導研修講座		1	
		人権・福祉教育研修講座		1	
		人権・福祉教育研修講座		1	
		幼・保・小連携研修講座		1	
		校内研究推進研修講座		1	
	担当者研修	道徳教育推進教師研修講座	4	2	担当者としての専門的な知識やスキルを身に付ける。
		学校図書館司書教諭研修講座		1	
安全教育担当者研修講座		1			
人権・福祉教育担当者研修講座		1			
学校への訪問支援研修	校内研修支援研修講座	*	*	指導主事等が学校を訪問し、学校のニーズに応じた支援を行う。 *印は学校からの要請・希望による。	
	情報教育訪問サポート研修	*	*		
	学校の要請に応じた指導主事等の訪問支援研修	*	*		
	教育実践相談	*	*		
	C S T派遣研修	*	*		
	宇宙航空研究開発機構（J A X A）職員派遣研修	*	*		
特別研修	県外委託研修	1 1	5	本市教育の質的向上・発展に資するために、市内外の教育機関等で実践的な研修を行う。	
	情報教育特別研修		5		
	長期派遣研修		1年		
	特別支援教育大学派遣研修		1年		
	英語教育推進リーダー中央研修		10		
	特別支援学校への人事交流教員研修		1		
	独立行政法人研修機関主催研修 教職員等中央研修（副校長・教頭等研修）		10		
	独立行政法人研修機関主催研修 教職員中央研修（事務職員研修）		5		
	独立行政法人研修機関主催研修 いじめ問題に関する指導者養成研修		5		
	独立行政法人研修機関主催研修 道徳教育指導者養成研修		3		
	独立行政法人研修機関主催研修 発達障害教育実践セミナー		1		
職能研修	学校事務職員研修講座	1 5	2	それぞれの専門性に応じて必要とされる知識・技能の向上を図る。	
	学校事務職員新採用研修講座		6		
	学校事務職員2年次研修講座		2		
	学校栄養職員新採用研修講座		5		
	学校栄養職員2年次研修講座		2		

職 能 研 修	学校栄養職員 3 年次研修講座		2
	学校栄養職員 5 年次研修講座		4
	学校栄養職員 10 年経験者研修講座		9
	給食調理員研修会		1
	学校技能員研修会		1
	介助員研修会		1
	初任者研修 拠点校指導教員研修講座		3
	初任者研修 実施校説明会		1
	養護教諭新採用研修専門指導員説明会		1
	平成 29 年度養護教諭新採用研修実施予定校説明会		1

3 学習機会の提供・学習相談機能

市民の学習欲求に的確に対応するとともに、市民の自己実現、人材育成、まちづくりのために、市内外の学習資源を活用したセンターならではの学習機会を提供します。
また、市民の生涯学習に関わる相談や学校、市民からの教育実践に関わる相談などに対応できる機能を提供します。

学習機会の提供

市民が自己を高め、学びを共有し、生き生きと充実した生活を送るために、また、活力ある地域づくりのために、学習機会を市内の学習機関等と連携して提供します。

1 市民大学

15 歳以上（中学生を除く）の市民等を対象に、大学等の高等教育機関が提供する学習機会を拡充し、市民の学習欲求に的確に対応するため、相模原・町田大学地域コンソーシアムと連携して市民大学を開講します。

【平成 28 年度実績】

（開催校）相模女子大学、麻布大学、和泉短期大学、女子美術大学、北里大学
医療ビジネス観光情報専門学校、桜美林大学、青山学院大学、多摩美術大学
東京家政学院大学、法政大学、サレジオ工業高等専門学校
玉川大学、和光大学

14 の高等教育機関、2 行政コースで 31 講座を開催
受講者数 1,473 名 申込者数 1,747 名

2 研究機関等公開講座

市内の研究機関等と連携し、それぞれの機能と専門性を生かしながら 15 歳以上（中学生を除く）の市民等を対象に学習機会を提供します。

【平成 28 年度実績】

外務省研修所	受講者数	90 名
東京国立近代美術館フィルムセンター相模原分館	受講者数	58 名
国民生活センター	受講者数	13 名
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所	受講者数	58 名

3 生涯学習まちかど講座

市民等の団体が主催する学習機会や学校の授業に市職員が出向いて、市の仕事の説明や専門的な知識を伝える講義を行います。

「我がまち相模原」「くらしの相談」「自治会・NPO」「戸籍」「税金・年金・保険」「福祉」「保健・衛生」「環境・自然」「ごみ・上下水道」「仕事と産業」「住まい」「まちづくり」「文化・教育」「安全」「市役所のこと」の15ジャンル、約190のメニューがあります。

4 講座事業

市民の生涯学習活動の振興に寄与し、社会の変化に対応した学習機会を提供します。

- ・市民生活を取り巻く課題に対応し、特に社会の要請が強い講座を開催します。
- ・公民館等社会教育機関及び行政機関で使える学習プログラムの開発に向けた講座を開催します。
- ・総合学習センターの機能を活かし、教育課題等に対応した講座を開催します。

5 学習活動の場の提供

(1)総合学習センターの施設提供

市民の学習活動の場として、大会議室・セミナールーム等の有料施設や交流ラウンジ等を提供します。（有料施設についての詳細は13ページ「総合学習センター施設利用案内」のとおりです）

(2)図書閲覧室・図書資料室の運営

図書館システムを利用した、図書の貸出、返却及びリクエストを行います。

(3)ミニ・アートギャラリーの実施

市民の生涯学習の成果を発表する場として、総合学習センターの1階（交流ラウンジ）2階（エレベータホール）を会場に作品展示を実施します。

【実施期間】1団体あたり1週間を原則に通年開催

【利用団体数】平成29年度予定 53団体

(4)学習相談コーナー、サークル・団体情報コーナーの設置

生涯学習に関するパンフレット等を収集し、相談に応える学習相談コーナーと学習サークル・団体の活動情報や会員募集等を周知するサークル・団体コーナー（パネル）を1階交流ラウンジに設置します。

6 市民のためのICT活用研修・支援の推進

(1)市民向け研修（目の不自由な人のパソコン体験講座）

(2)市民の研修活動の支援（市民向けパソコン講習会・相談会の支援）

学習相談

1 生涯学習相談

市民の生涯学習に関わる相談、支援を生涯学習推進員が実施します。

【相談方法】電話、面談、電子メール

【相談内容】講師・サークル・施設・講座の案内、資格取得等学習に関わる情報提供など

【受付時間】午前9時から午後9時30分まで

4 学習情報の収集・提供機能

市民や教職員、子どもたちが豊かで多様な学習・教育活動を展開するために、それぞれのニーズにあった最新の情報を提供します。情報収集・発信活動を広く展開し、市民や教職員の生涯学習や教育活動をサポートする情報拠点となります。

1 刊行物による情報の提供

(1)教育研究集録の発行

研究員研究の研究集録及び教育実践研究論文集を1つの冊子にまとめ、本市の教育実践・研究の成果を共有します。

- (2)「総合学習センターだより」の発行（年3回）
当センターの活動はもとより、学校・地域の情報「学社連携・協働」の視点に立った情報も積極的に発信します。
- (3)「副読本」の発行
各種教育に関わる副読本を発行し、児童生徒の学びや家庭教育を支援します。

名 称	配付対象	備 考
小学校社会科副読本「さがみはら」	小学校3年生	平成29年4月 配付
中学校社会科副読本「私たちの相模原」	中学校1年生	平成29年4月 配付
家庭でできる性教育読本「さわやか」	小学校4年生保護者	平成29年4月 配付
家庭でできる性教育読本「さわやか」 ダイジェスト版	小学校1年生保護者	平成29年4月 配付
防災ガイドブック	小学校1年生 小学校4年生 中学校1年生	平成29年4月 配付
情報モラルハンドブック (平成28年度一部改訂)	全教職員 全小・中学校	平成29年4月 配付
情報活用ハンドブック (平成28年度発行)	全教職員	平成29年4月 配付

- (4)特別研修集録の発行
県外委託研修報告書及び情報教育特別研修報告書を1つの冊子にまとめ、研修員の研修成果を発信します。
- (5)教職員職員研修ブログの配信
教職員研修の様子を「教職員研修ブログ『速報！研修だより』」としてホームページから配信します。

2 電子媒体による情報の提供

- (1)総合学習センターホームページ
センター事業概要だけでなく、研究・研修講座内容等、教育に関する様々な情報を掲載しています。HPアドレス <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/>
- (2)生涯学習情報「生涯学習のとびら」
生涯学習に関する様々な情報を掲載しています。
[主な内容] 「講座・イベント情報」「指導者・人材情報」「団体・サークル情報」「施設情報」
HPアドレス <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/syougaikensaku/view.htm>

3 教育資料の収集・提供

- (1)教育関係図書（平成28年12月末現在8,156冊蔵書）及び本市、他市町村の教育研究資料（平成28年499点）の収集
- (2)教育関係図書等の貸出し
- (3)本市を中心とした学習指導案・教育研究成果物等の閲覧
平日：午前9時～午後8時 土・日・休日：午前9時～午後6時（休所日を除く）

5 情報教育推進機能

技術の高度化に伴う予測困難な社会を主体的に対応できる資質・能力を身に付けられるようにするためには、子どもの情報活用能力を育成する情報教育の推進が必要です。そのために、学校の情報化推進計画（平成29年度から平成31年度）を策定し、主に「情報活用能力の育成」「ICTを活用した授業改善」「公務の情報化」の3つの施策から、学校の情報化を進めます。

また「セキュリティやモラルを意識した情報化（安全安心な学校づくり）」に取り組むことにより、情報教育を総合的に推進します。

1 「学校間ネットワーク」の活用環境の整備

(1) 「学校間ネットワーク」活用のためのセンターサーバの維持管理

総合学習センターのサーバの維持管理を行い、安定したネットワーク環境の整備を進めます。

(2) 学校内のパソコンなどの情報機器の整備

コンピュータ教室・図書室・特別支援学級・通級指導教室のPC機器更新を行い、図書室には普通教室でも使用可能な検索用タブレットPC、特別支援学級・通級指導教室へは学習用タブレットPCを導入します。

2 「学校間ネットワーク」の効果的な運営

(1) 「学校間ネットワーク」機能の充実・改善と保守

コンピュータ教室更新・特別支援学級更新校において、教室内の無線LAN環境を実現し、タブレットPCの利活用を図ります。

また、授業で活用できるデジタル素材データベースを充実させます。

(2) 教職員用グループウェア「e-ネットSAGAMI」の機能の充実と活用の促進

職員室の機器更新に合わせ「情報活用能力の育成」「校務の情報化」を進めるための機能の充実など継続的に環境整備を行います。

(3) 学校ホームページの機能改善と活用・更新の支援

学校ホームページの定期的な更新の支援を行います。

(4) 総合学習センターホームページの内容充実とタイムリーな更新

(5) 「さがみはらスタディメイト」による、子どもの学習に役立つ情報提供

全庁との連携による情報発信

教科に役立つリンク集

3 情報活用を進める研修・支援の推進

(1) 学校の情報化推進計画に則った研修体系による研修の実施

「校内LAN環境の活用」に対応した「情報教育研修の実施」

情報活用能力の育成研修講座（年12回：各校1名及び希望者）

ICTを活用した授業改善研修講座（年15回：希望者）

校務の情報化研修講座（年21回：希望者）

情報教育担当者研修講座（年8回：情報教育担当者）

・訪問サポート研修の実施（情報セキュリティポリシー、ICT機器活用授業づくり、プログラミング教育、ICT機器操作：希望校）校内研修等、学校のニーズに即した出前研修

・コンピュータアドバイザーの派遣

・学校ホームページ作成相談

市立小・中学校のホームページの作成・更新を相談支援

・ICT機器の貸出事業

学習用タブレットPC（11台）、テレビ会議用タブレットPC（2台）、デジタルペン（2セット）、電子黒板機能付プロジェクター（1台）の学校への貸出

4 情報セキュリティ・情報モラル教育の推進

(1) 情報セキュリティ監査及び研修の実施

情報セキュリティ監査の実施

市立小・中学校における情報セキュリティ対策の遵守状況を点検・評価することで、教職員の意識向上及び管理体制の見直し拡充を図ります。

ネットパトロールの実施

学校裏サイトや問題のあるSNS及びプロフィールサイト等についての検索を行い、学校への情報提供を行うとともに、毎月1回ネットパトロールだよりを発行します。

情報モラル「相模原」プランの実施

児童生徒が情報を正しく安全に活用していけるように、本年度改訂した情報モラルハンドブックを活用した授業実践及び内容の見直しを行います。

6 生涯学習ネットワーク機能

多様化する生涯学習ニーズへの対応や、人と人のつながりや組織と組織のつながりから生まれる新たな学習機会や学習の深まり、また、楽しみを実現するためのネットワークづくりを支援していきます。

1 市民講座の創造

「知の循環型社会」の実現のため、市民による市民のための学習機会を提供する組織の運営や活動を、市民と共に発展させていく事業です。

(1) 研修講座の実施

講座の講師や企画・運営を希望する市民を対象に講座の運営方法などについて、学習する講義編と受講者自らが企画した講座を実際に行う実践編を開催します。

(2) 市民講座運営組織の支援

研修講座修了後に受講者達の自主組織による講座の企画と運営に対する支援を行います。

(3) 仕組みの構築

本事業の取組について関係団体等と調整の上、事業全体の仕組みを構築します。

【平成28年度開催講座実績】

研修講座 講義編	全12回	受講者3名	
研修講座 実践編（研修講座の受講者が企画した講座）			3講座
市民講座運営組織が主体となって実施した講座の支援			
春講座	15講座	・ 夏講座	5講座
秋講座	8講座	・ 冬講座	9講座

2 生涯学習関連行政・機関等との連携・協働を促進

各課・機関や公益事業者の生涯学習に関するサービスを集約し、連携・協働による一層充実した学習機会の提供に向けた促進をします。

7 人材養成機能

教育に対する理想と情熱をもつ実践力のある教員志望者の人材養成を図っていきます。

さがみ風っ子教師塾の概要

さがみはら教育の魅力を学び、その発展と充実に寄与しようとする強い意志と、教育への情熱、使命感、幅広い教養をもった心豊かな人材を育てます。

1 教師塾の取り組み

- (1) 今日的状況や諸課題についての講義、演習を取り入れ、自らの教育観を深めます。
- (2) 相模原市の実態や現状についての講義や学校実習を行い、子ども理解に役立てます。
- (3) 模擬授業や協議を行い、授業づくりについての実践力を高めます。
- (4) 教育への夢や願いについての協議を行い、教師への情熱を確固なものにします。

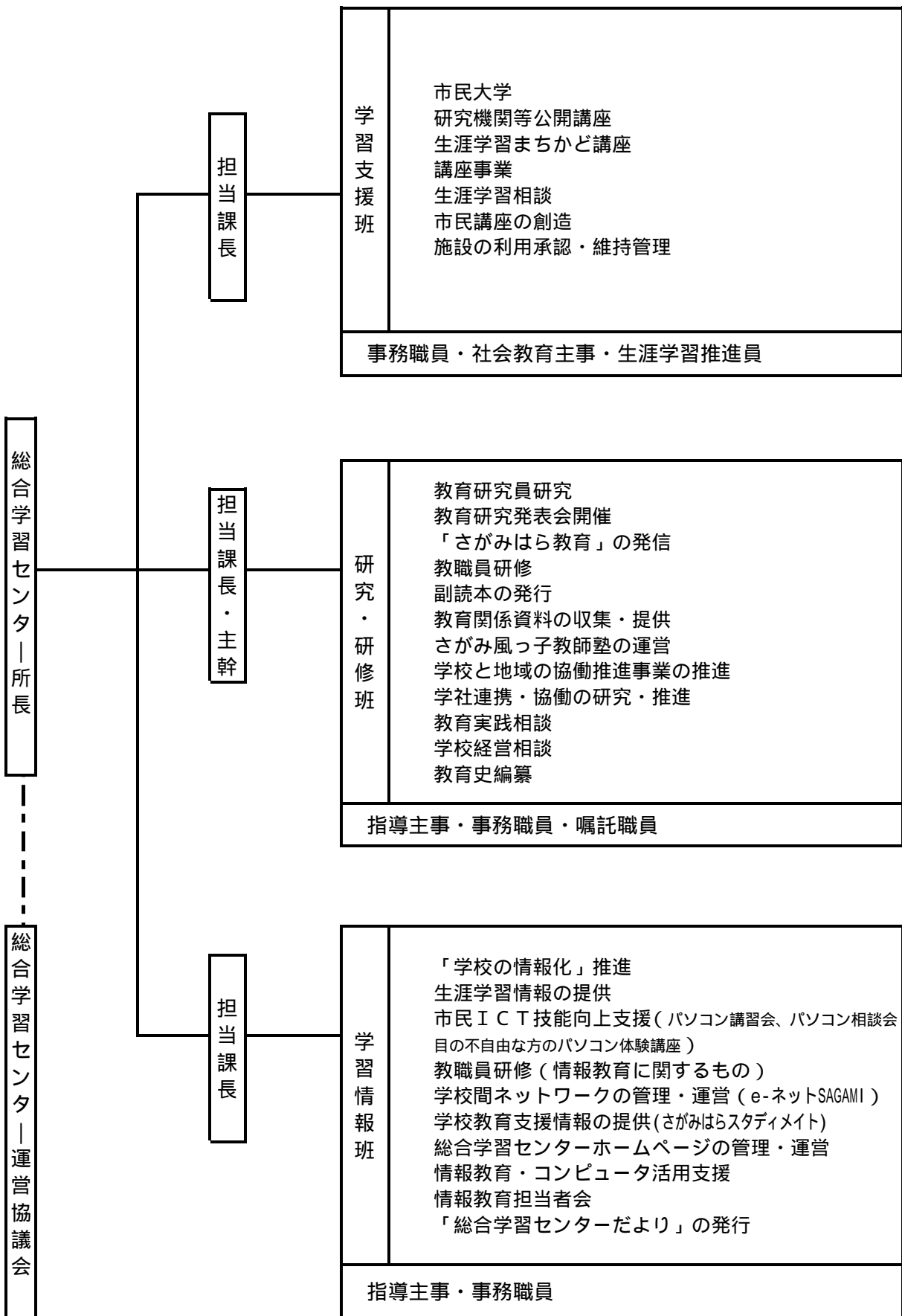
2 塾生に求める3つの学ぶ姿

- (1) 教育の夢を語る
- (2) 教師としてのやりがいを学ぶ
- (3) 同志の輪を広げる

3 運営内容（平成29年度 第9期教師塾）

- (1)対象者 相模原市立小・中学校教員を志望する者
昭和34年4月2日以降生まれの者
小・中学校教育職員免許状所有者又は平成30年度中に取得見込者
- (2)入塾期間 10月から翌年3月までの6か月間
- (3)日 程 土曜日全日（午前9時30分から午後4時45分まで）全12回
- (4)募集人数 50名程度（小・中学校あわせて）
- (5)講義担当 塾長、専任講師、外部講師、現職教員、指導主事等
- (6)内 容 講義、グループ協議、学校実習、模擬授業、論文作成等
- (7)受講料 10,000円

総合学習センター組織図・主な事業内容



総合学習センター施設利用案内

1 階【情報と交流のフロア】

交流ラウンジ インターネットが体験できる個人利用のパソコンや予約なしで打ち合わせなどができるスペースもあります。また、サークルや団体の会員募集や催しもの案内を掲示しています。

パソコンルーム パソコンに関する講習会や研修などを行います。（一般貸し出しはしていません）
学習相談窓口（センター事務室） サークル講師、施設や様々な学習機会についての相談ができます。

2 階【サークル・団体活動のフロア】

セミナールーム（定員72人） 研修・講習などができます。
多目的室（定員20人） 防音設備があり、音楽やダンスなどの練習ができます。
小会議室1・2・3（各定員24人） 少人数での会合などに利用できます。
和室1・2（各定員20人） 華道・茶道などの活動に利用できます。

3 階【調査・研究のフロア】

図書閲覧室 教育関係の図書・資料を閲覧できます。市の図書貸出券で借りることができます。
図書資料室 教育関係の資料が保管されています。

4 階【サークル・団体活動のフロア】

大会議室（定員204人） 講演会や発表会、ダンスなどに利用できます。
小会議室4（定員16人） 少人数の会合や大会議室の控室としての利用ができます。

利用の方法等

利用時間 午前9時～午後10時
休 所 日 保守点検日
・原則毎月第3木曜日
・年末年始（12月29日～1月3日）

利用の制限
営利・宗教・政治活動での利用はできません。

申込方法
窓口・インターネット・街頭端末機（インターネットや街頭端末機での申込みは登録団体に限られます）

申込時期（抽選）

【インターネット等】

利用登録団体は利用日の4か月（大会議室は7か月）前の月の16日からその月の末日までに、抽選申込みができます。当選した場合は、翌月の2日から9日までに確認・利用申請が必要です。

申込時期（随時）

【窓口・インターネット共通】

利用日の3か月（大会議室は6か月）前の月の11日から利用日の2日前まで。ただし、窓口での申込みは当日まで。

使用料

使用料は右表のとおりです。

施 設 (定員・面積)	使用料(円)		
	午前 9時から 12時まで	午後 13時から 17時まで	夜間 18時から 22時まで
大会議室 (204人・301㎡)	3,900	5,200	5,200
セミナールーム (72人・160㎡)	2,100	2,800	2,800
多目的室 (20人・90㎡)	1,200	1,600	1,600
小会議室1・2・3 (各24人・49㎡)	600	800	800
小会議室4 (16人・49㎡)	600	800	800
和 室1・2 (20人・15畳)	600	800	800

【繰上・延長】

基本使用料の30%を加算し、使用時間を1時間繰上げ又は延長することができます。

【保育室】

無料。ただし、有料施設利用と同時間帯に限りです。
(保育者は、利用団体で確保してください)

